



長期ビジョン実現に向けた価値創造ストーリー

中期経営計画2025ーポストコロナへの挑戦ー アップデート

「中期経営計画2025」の基本的な考え方

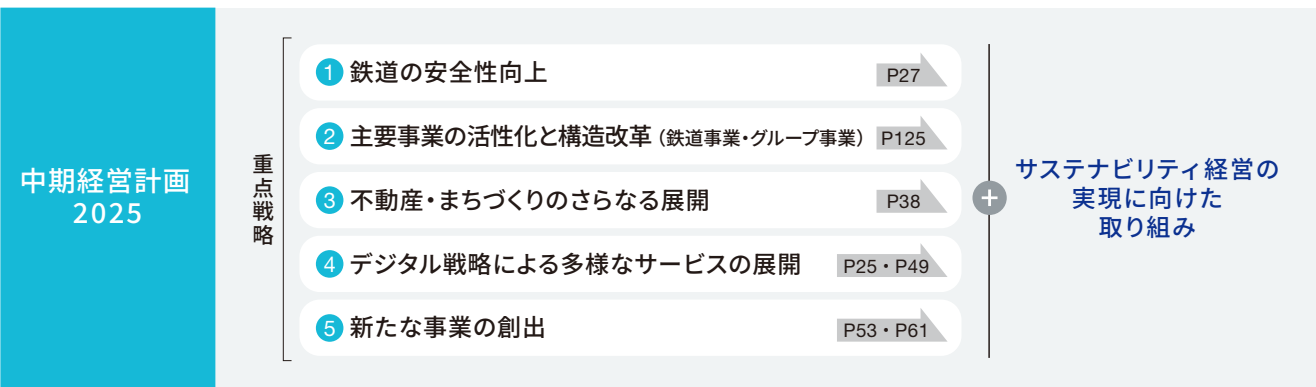
「中期経営計画2025」は、2023～2025年度の3年間の取り組み計画を策定している戦略です。

「中期経営計画2025」では、「長期ビジョン」実現に向けた第1ステップとの位置づけのもと、足元の機会を最大限活かした成長を加速するため、5つの「重点戦略」を掲げています。併せて、サステナビリティ経営の実現に向けて、地域共生、人的資本経営、ガバナンス・リスクマネジメント・人権などに取り組んでいます。

「中期経営計画2025」のアップデート

「中期経営計画2025」の計画期間初年度である2023年度を振り返り、2024年度に「中期経営計画2025」をアップデートしました。

JR西日本グループの価値創造体系、「中期経営計画2025」の重点戦略のもと、施策を具体化するとともに、より認識を深めた経営課題に対応する施策を追加し、「私たちの志」のもと「長期ビジョン2032」の実現を加速させていきます。



アップデート

「重点戦略」の具体化

- 「中期経営計画2025」の基本的な戦略は不変。
- 「私たちの志」のもと「長期ビジョン」の実現をめざし、「中期経営計画2025」重点戦略の施策をより具体化。

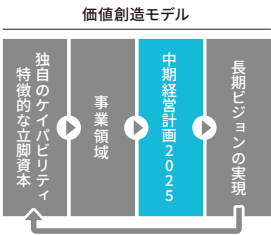
追加施策

- より認識を深めた対応すべき経営課題の打ち手となる新たな施策を追加し、「私たちの志」のもと「長期ビジョン」の実現を加速。
- 「鉄道の安全性向上・持続的進化」「グループ一体となった価値創造」とその基盤となる「変化対応・創出力向上」に向けた施策に資源を追加。

財務目標

- 中期経営計画の施策の推進などによるご利用増加や、構造改革の成果、外部環境変化も踏まえ、計画数値をアップデート。

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度(アップデート後)
連結営業利益	1,797億円	1,801億円	1,850億円
EBITDA	3,430億円	3,495億円	3,700億円
(参考)運輸収入	8,405億円	8,926億円	9,050億円



「重点戦略」の具体化

鉄道の安全性向上

- 福知山線列車事故を原点とし、安全を追求し続け、弛まぬ努力を継続
- 「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の推進
 - ホーム柵や逸脱防止ガードなどの安全を支える設備の整備を推進
 - 持続的進化に向けたハード・ソフトの機能向上（鉄道運行やメンテナンスにおける技術・業務革新など）



主要事業の活性化と構造改革（鉄道事業・グループ事業）

- 北陸新幹線 金沢・敦賀間開業効果の最大化
- 大阪・関西万博の機運醸成とさまざまな事業機会を捉える取り組み
- 西日本エリアの魅力発信によるインバウンド需要の取り込み



不動産・まちづくりのさらなる展開

- 大阪駅周辺開発などを通じたウォークアブルで魅力あふれるまちづくりの推進
 - 大阪駅（うめきたエリア）[2023年3月開業]
 - JPタワー大阪 [2024年7月開業]
 - インゲート大阪 [2024年7月開業]
 - うめきたグリーンプレイス [2025年3月開業]
- 多様なライフスタイルに対応した沿線づくり（西明石・向日町など）

デジタル戦略による多様なサービスの展開

- 西日本を舞台とするオープンプラットフォーム（WESTERワールド）の構築に向けたデジタル戦略の推進
- 段違いに「便利・おトク・楽しい」体験メニュー（WESTER体験）の提供、シナジー創出に向けたマーケティング力強化

新たな事業の創出

- グループ内外のパートナーとの協業による自治体などへのサービス展開
- 駅の顧客接点の強みを活かしたパーチャル空間の創出
- 移動と組み合わせた利便性の高いワークスペースの提供

サステナビリティ経営の実現

地域共生

- 豊かな地域づくり・地域ビジネスの推進（森の芸術祭 晴れの国・岡山、列車での荷物輸送事業）
- ご利用しやすい持続可能な交通体系づくり（城端・氷見線、芸備線、BRTの取り組み）



地球環境

- 列車運転用電力への再エネ導入のさらなる拡大
- 省エネに優れた新型鉄道車両の導入拡大によるCO₂排出量削減

変化対応・創出力を高める人財戦略

- 成長実感を持っていきいきと働ける環境の整備
- 「つながり」を進化させ、価値創出に挑戦する「変革人財」の育成

ガバナンス・リスクマネジメント・人権

- 「JR西日本グループ行動規範」に基づく取り組み（人権尊重など）
- 安心して働ける環境整備（カスタマーハラスメント対応など）

追加施策

鉄道事業の安全性向上・持続的進化

- 車両更新の早期化による安全性・快適性の向上
- 着席サービスの拡大（Aシート追加投入）
- ハード・ソフト両面の改良による輸送品質・生産性の向上



グループ一体となった価値創造

- 不動産事業の拡大（付加価値の高い不動産アセットの拡充）
- まちの核となる拠点駅リニューアル



変化対応・創出力の向上

- 成長を支援し、多様性と働きがいをもつ環境・仕組みの整備
- 日々の研鑽によりサービス・品質の向上に挑戦する人財の育成
- イノベーション創出の機会の拡大やデジタルリテラシー向上の取り組み推進

